

「玉名温泉街=ユニバーサルデザインの街」を目指して



UD実態調査の様子

玉名温泉街の「温泉街活性化ビジョン」の検討に合わせて、「玉名温泉街のユニバーサルデザイン推進事業委員会」を発足させ、ホテル・旅館・街路などのUD実態調査を行いました。「すべての人に安心して使いやすい街づくり」の提案は、建築士の今後の課題であり、UDに関する理解を深めるためにも、有意義な活動です。調査には、建築士と一緒に、お年寄りや耳の不自由な方、車いす・ベビーカー利用者、外国の方などが参加。参加者からは、

「自分が利用しやすい環境を分かってもらえることで、少しずつでも行動の幅が広がりそう」という意見をいただきました。玉名温泉街にとっても、さまざまな立場の利用者が求めていることを知ることで、心のUDである快適な「おもてなし」につながると考えています。今回の調査内容が今後「温泉街活性化ビジョン」の中に生かされ、「玉名温泉街=すべての人に優しいUDの街」というイメージを広めることができれば、集客力アップにもつながっていくのではと期待しています。

(社)熊本県建築士会
あらたま支部
しまむら まりこ
島村 希理子さん



街と人をつなぐ上通ユニバーサルデザインサービス

昨年11月に開催された「くまもとアートポリス2004とUD展」で、上通では店舗・ホテル・郵便局など約20軒が参加してUDサービスに取り組みました。交通体系が整っている上通は、子どもやお年寄りにとっても来やすい街。もっと多くの方々に上通に来ていただくことを目的に実施しました。具体的には、UD商品の展示販売やUD陶器を使った食事の提供、案内誘導サインの見直し、筆談サービスなど、それぞれができる



上通で開かれたUD製品展

始めました。当院でも、患者さんのアンケートや識者のアドバイスをもとにUDサービスに取り組んできましたが、「患者さんの気持ちをくみ取る」という当院の理念が、県のUDの理念と合致すると実感しました。だれもが安心して訪れることのできる街づくりのためには、UDサービスの浸透は不可欠。街と人をつなぐ今回の取り組みが、上通全体でUDサービスを考えUDの街づくりを進めていくきっかけとなり、上通のさらなる魅力づくりへの第一歩になればと願っています。



内科医師(熊本市)
あまた すすき
緒方 進さん



あまた けんじ
緒方 優一さん

地域企業への開発支援と評価基準の確立へ



くまもとUDものづくりフォーラム2004

子どもからお年寄りまでさまざまなユーザーニーズを想定したUD製品の開発は、研究開発費用の問題などから地方の中小企業には難しいといわれていました。そこで、県では平成14年から、地域企業のUD開発支援を始め、UD製品開発に意欲を持つ企業やデザイナー、大学と連携して開発チームをつくり、技術面やデザイン面での開発支援を行ってきました。昨年10月に開催した「くまもとUDものづくりフォーラム2004」では、段差解消伸縮スロープや省スペース収納システム、県産ヒノキの内装材、UD陶器などを発表し、高い評価を受けました。現

在は、歩行補助車やユニット型住宅、街路家具(ベンチ・車止めなど)の製品化に向けて取り組んでいるところです。これからの課題は、UD製品の開発に参加する企業を増やしていくことと、「何をもちょうUDとするのか」というUD製品の使いやすさ・安全性・価格などの評価基準づくりを進めること。人と環境に優しいUD製品を一つでも多く開発できるように、これまでの地域企業への開発支援に加え、今後はUD製品の評価に関する調査研究も進めていきたいと考えています。

熊本県工業技術センター
情報デザイン部
はらぐち りゅういち
原口 隆一 研究参事



広がるユニバーサルデザインの

「だれもが暮らしやすく豊かなくまもと」の実現を目指して県が取り組んでいるユニバーサルデザイン(UD)。現在、県内各地で進められている県民の皆さんによるUDの取り組み事例をご紹介します。



ユニバーサルデザイン(UD)を取り入れて、21世紀の社会にふさわしい熊本づくりを進めるには、県だけではなく、県民の皆さんや企業・団体など多くの方が主体的に参加し、パートナーシップを組んでいくことが大切です。皆さんも地域、職場や生活の中でUDの取り組みを始めてみませんか。

お問い合わせ先

熊本県政策調整課 特定政策推進室
☎096-383-1111(内線3824) FAX 096-385-0627
電子メール seisakutyousei@pref.kumamoto.lg.jp
ホームページ http://ud.pref.kumamoto.jp/